

タイトル『これはただの夏』

著者：燃え殻

出版社：新潮社

目まぐるしく過ぎていく日々のなかで、ある日  
不意になにか忘れてきたようなさみさが  
やってくる**ことがあります**。この本はその「忘れたもの」  
に気づかせてくれる力を持っているように感じます。  
本に夢中になってすべてを忘れ、今の自分から抜  
け出すことももちろん素晴らしいことです。ですが、  
この本に描かれている、変わらない、何者にもな  
れない「ボク」のひと夏を通して、どこかに置いて  
きたなんでもない思い出と、捨ててしまいたくても  
捨てられない、どうしようもない自分をかみしめ  
てほしいです。

投稿日 2024年 8月 29日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

年齢

葉

14

仙台市 太白図書館 YAコーナー